

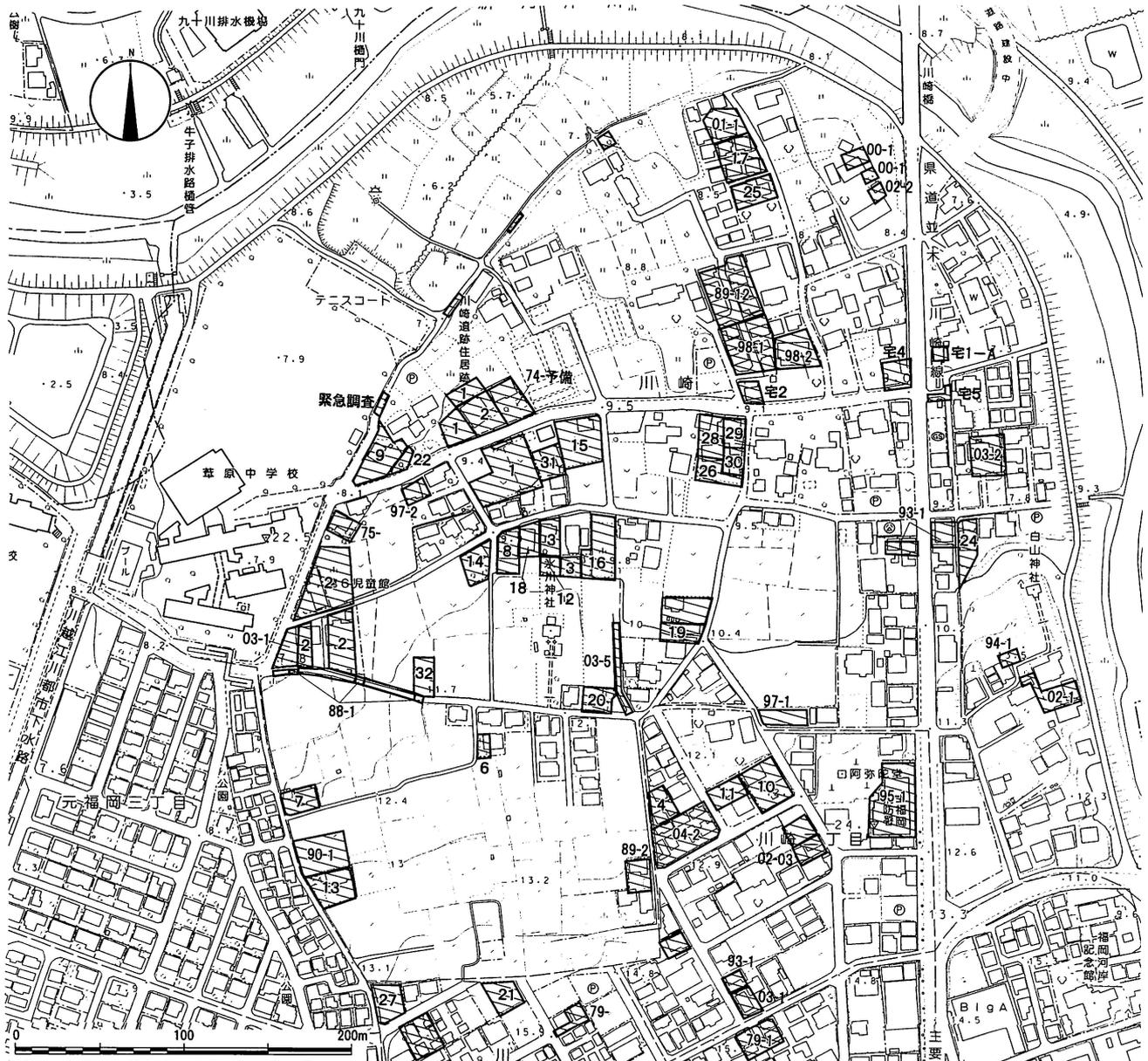
## 第2章 川崎遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出した武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。台地の幅は400～500 m、台地の基部から先端へ1 km にわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で18 m、最北部では8 mを測る。遺跡の範囲は南北600 m、東西500 m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に川崎横穴墓群が隣接し、東側基部に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917年（大正6年）台地の先端部で貝層が確認され1928年（昭和3年）の調査では川崎貝塚として報告された。1967年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、1980年以来36ヶ所で調査が行われ、21ヶ所で遺構が確認されている。主たる時代と遺構は縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑である。



第4図 川崎遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第7表 川崎遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( )は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
予備発掘調査	川崎 160	(1974.3.25 ~ 4.4)	84	事前調査	炬穴3、土坑2、ピット群、縄文土器、石器	上福岡市遺跡調査報告書
1次	川崎 162 ~ 176	1974.7.20 ~ 9.19	1,800	事前調査	住居跡11(縄文前期3、古墳前期1、国分7)、溝3、堀2、土坑5、地下式坑6、集石1	川崎遺跡 第1次調査概報
緊急発掘調査	大字川崎字宮後 168-3	1975.3.30 ~ 5.10	198	個人住宅	溝3、縄文土器、石器、平安土師器・須恵器・灰釉陶器・布目瓦・瓦塔	上福岡市遺跡調査報告書
宅地添1次(A地区)	大字川崎字宅地添 122	1975.6.8 ~ 29	50	個人住宅	縄文早期住居跡1、縄文土器、石器、礫	上福岡市遺跡調査報告書
2次	川崎 137 ~ 174	1975.9.4 ~ 12.5	3,055	事前調査	縄文住居跡9、古墳住居跡6、奈良平安住居跡10、中世遺構他	川崎遺跡 第2次調査概報
3次	川崎 149-6	1977.11.1 ~ 12.3	300	住宅建設	縄文住居跡2(7,8)、奈良平安住居跡6(1,2,4 ~ 6,9)、焼土散布、柱穴、溝	川崎遺跡(第3次)・長宮遺跡
宅地添2次(B地区)	川崎 198	1978.5.15 ~ 25	170	宅地造成	土坑3、ピット	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)
宅地添3次(C地区)	川崎 230	1978.5.23 ~ 31	130	宅地造成	井戸跡2、地下坑1、溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)
4次	川崎 2-5-2	1979.4.19 ~ 5.11	304	宅地造成	縄文前期住居跡1、溝1、黒浜式土器、貝類	埋蔵文化財の調査(Ⅱ) 埋蔵文化財の調査(Ⅳ)
5次	川崎 1-1-4	1979.9.26 ~ 10.10	152	宅地造成	溝状遺構	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
1979年度試掘(清見)	清見 4-3-11	(1979.11.12 ~ 19)	260	宅地造成	溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)
6次	川崎 102-5	1979.12.3 ~ 8	30	アレー家屋	縄文前期住居跡2、縄文土器片、平安住居跡2	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)
7次	川崎 124-3	1981.11.27 ~ 30	316	個人住宅	遺構無し、平安土器片	埋蔵文化財の調査(Ⅳ)
8次	大字川崎字宮脇 148-1	1984.1.17 ~ 26	400	住宅建設	溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅵ)
宅地添4次	川崎宅地添 219	1984.9.25 ~ 10.9	301	住宅建設	縄文住居跡1、平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅶ)
9次	川崎字宮後口 172-1.2	1986.9.11 ~ 20	495	個人住宅	溝2、縄文後・晩期、平安土器散布	埋蔵文化財の調査(Ⅷ)
10次	川崎 224-1	1987.11.24 ~ 30	603	個人住宅	溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅸ)
11次	川崎 2-6-2	1988.5.10 ~ 17	289	住宅建設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅺ)
1988年度試掘	市道 402号線	(1988.9.19 ~ 21)	60	下水道設置	住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅺ)
1989年度試掘(1)	川崎字宅地添 196-1	(1989.4.10 ~ 18)	1,045	住宅建設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅻ)
1989年度試掘(2)	川崎字宮前 98-2	(1989.10.3 ~ 6)	264	住宅建設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅻ)
12次	川崎字宮前 149-4.5	1990.4.20 ~ 27	311	住宅建設	溝2	埋蔵文化財の調査(Ⅼ)
13次	大字川崎字宮前 122	1990.5.1 ~ 17	480	住宅建設	奈良住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅼ)
1990年度試掘(1)	大字川崎字宮前 122	(1990.5.18 ~ 23)	530	範囲確認調査	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅼ)
14次	大字川崎字宮前 145	1990.10.1 ~ 31	499	住宅建設	縄文前期住居跡1、貝塚、平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅼ)
15次	川崎字宮後口 160-1	1991.10.23 ~ 11.20	499	個人住宅	平安住居跡7、土坑1	埋蔵文化財の調査(Ⅽ)
1992年度試掘(1)	大字川崎字山向 9-5	(1993.2.18 ~ 19)	168	店舗併用住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅾ)
1993年度試掘(1)	川崎 2-2-10.11	(1993.8.24)	131	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅾ)
1993年度試掘(2)	川崎 1-1-1の一部	(1993.9.10 ~ 13)	422	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(Ⅾ)
1994年度試掘(1)	川崎字台 258 他1筆	(1994.11.17 ~ 24)	230	機材置場敷設	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅰ)
1995年度試掘(1)	川崎 2-7-2.3	(1995.10.13 ~ 16)	1,126	消防署	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅱ)
16次	川崎字宮脇 150-2.3	1995.12.11 ~ 1996.3.8	828	駐車場及び資材置場敷設	縄文前期(黒浜期)大形住居跡1、同期住居跡2・土坑2、平安住居跡4・掘立柱建物跡6、中世竪穴状遺構2	7年度教育要覧
17次	川崎字宅地添 204の一部	1996.7.15 ~ 23	779	個人住宅	平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
18次	川崎字宮脇 148-3	1996.11.18 ~ 25	198	個人住宅	平安住居跡1	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
1997年度試掘(1)	川崎字山向 21	(1997.4.14)	367	宅地造成	溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
1997年度試掘(2)	川崎字宮後口 165-6	(1997.10.20)	204	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
1997年度試掘(3)	川崎字宅地添 199-1,2,5	(1998.2.12 ~ 16)	780	個人住宅	遺構・遺物無し	9年度教育要覧
1998年度試掘(1)	川崎字宅地添 197-1	(1998.10.27 ~ 11.6)	996	宅地造成	縄文前期土坑1ほか	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
市道 402号線 2次	川崎字宮前、宮脇地内	2000.2.21 ~ 25	496	道路築造	縄文前期住居跡1	11年度教育要覧
2000年度試掘(1)	川崎大字宅地添 209の一部	(2000.6.19 ~ 22)	123	個人住宅	貝塚の一部	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
範囲確認調査	川崎字宅地添 209	(2001.6.12 ~ 25)	100	車庫	溝1	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
19次	川崎字宮脇 157の一部	2001.9.18 ~ 10.4	289	個人住宅	平安初頭住居跡1	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2001年度試掘(1)	川崎字宅地添 204-1	(2001.10.29,30)	825	宅地造成	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2002年度試掘(1)	川崎 249-1の一部	(2002.5.13)	341	倉庫	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2002年度試掘(2)	川崎 210-1.2の一部	(2002.10.28,29)	551	共同住宅	溝1【盛土保存】	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2002年度試掘(3)	川崎 2-4-16	(2002.12.24)	228	個人住宅	遺構・遺物無し	14年度教育要覧
2002年度試掘(4)	川崎 2-2-12	(2003.3.13)	165	個人住宅	遺構・遺物無し	14年度教育要覧
2002年度試掘(5)	川崎字宮脇 155 先	(2003.3.26)	164	道路築造	遺構・遺物無し	14年度教育要覧
2003年度試掘(1)	川崎 137-1の一部	(2003.8.6,7)	257	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2003年度試掘(2)	川崎字宅地添 226-14	(2003.12.8,19)	381	個人住宅	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
宅地添地区 5次	川崎字宅地添 222-3 先	2004.2.16 ~ 18	88		古墳初頭竪穴住居跡1【調査実施】	15年度教育要覧
2004年度試掘(1)	川崎字宮脇 157-1の一部	(2004.6.14,15)	421	個人住宅	平安時代竪穴住居のカマドの一部	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
2004年度試掘(2)	川崎 2-5-1	(2004.11.1 ~ 4)	881	宅地造成	遺構・遺物無し	埋蔵文化財の調査(ⅲ)
20次	川崎字宮脇 153-5	2005.11.28 ~ 12.2(11.22 ~ 27)	257	個人住宅	古墳住居跡1	市内遺跡群 1
21	川崎 1-6-10	(2006.4.11) 2006.4.14 ~ 20	298	個人住宅	奈良住居跡1、溝	市内遺跡群 3
22	川崎 171-1,174-10	(2007.4.16 ~ 23)	104	消防分団倉庫	炬穴4、地下式坑2、穴蔵1、土坑2	市内遺跡群 4
23	川崎字宮前 102-4.6	(2007.6.4)	240	個人住宅	工事着工済みのため工事立会い	市内遺跡群 4
24	川崎字宅地添 225-3	(2007.10.4)	319	共同住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡群 4
25	川崎字宅地添 203 番1の一部、203 番3の一部	(2008.4.14) 2008.4.15 ~ 17	1,033	個人住宅	奈良時代掘立柱建物跡1、溝、近代以降の地下室1	市内遺跡群 6
26	川崎字宅地添 230 番5	(2008.4.21) 2008.4.22 ~ 5.17	228	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡4、土坑、ピット、近代以降の井戸1	市内遺跡群 6
27	川崎 1-7-1	(2008.5.15 ~ 5.21)	350	分譲住宅	時期不明の溝1、土坑1	市内遺跡群 6
28	川崎字宅地添 230-7	(2008.7.4 ~ 7.9) 2008.7.10 ~ 8.8	434	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡2、土坑、ピット	市内遺跡群 6
29	川崎字宅地添 230 番1	(2008.7.9 ~ 7.11) 2008.7.14 ~ 8.22	203	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡2、溝3	市内遺跡群 6
30	川崎字宅地添 230 番6	(2008.7.17) 2008.7.18 ~ 9.5	200	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡4、井戸3、土坑、溝5	市内遺跡群 6
31	川崎字宮後 161 番5の一部、161 番地6	(2009.10.28) 2009.10.28 ~ 11.27	304	個人住宅	縄文時代中期住居跡2、奈良・平安時代竪穴住居跡2、ピット12	未報告
32	川崎字宮脇 140の一部	(2011.2.24 ~ 25) 2011.3.2 ~ 25	396	個人住宅	奈良・平安時代竪穴住居跡3、土坑2、建物部分本調査	未報告

第8表 川崎遺跡古代住居跡一覧表 (単位 cm)

住居 番号	調査 年度	調査名	調査率	平面形( ) は推定	規模	炉 カマドK	設置壁	カマド 規模 cm	周溝	主軸方位	時期	備考	文献
1	1974	第1次LN72	完掘	隅丸方形	760×730×40	炉	地床炉	60×50	○	N-60-E	3C 終末	市指定文化財	川崎遺跡第1次概報
2	1974	第1次LN05	完掘	方形	390×320×	K			○	N-5-E	国分		''
3	1974	第1次LN06	完掘	歪んだ方形	320×320×	K	東			N-13-W	9C 4 半期		''
4	1974	第1次LN07	完掘	方形	320×320×	K	東	80×90	○	N-83-W	9C 中葉		''
5	1974	第1次LN24	完掘	長方形	470×340×50	K	北	120×75	○	N-5-E	10C 1 半期		''
6	1974	第1次LN25	完掘	方形	320×300×	K	北	40×40		N-42-E	9C 1 半期		''
7	1974	第1次LN28	西側未掘	(長方形)	×300	K	東	50×60	○	N-69-W	9C 3 半期		''
8	1974	第1次LN71	東側7割未掘	(方形)	×600								''
9	1975	第2次LN75	部分	(長方形)									川崎遺跡第2次概報
10	1975	第2次LN92	部分	(長方形)							10C 1 半期		''
11	1975	第2次LN72	完掘	隅丸方形	250×250×13	K	南	50×80		N-18-E	国分		''
12	1975	第2次LN07	完掘	方形	720×720	K	北		○	N-32-E	6C 後半	ビット多数 土錘	''
13	1975	第2次LN04	完掘	方形	390×350	K	東	60×70	○	N-64-E	6C 前半	貯蔵穴有り	''
14	1975	第2次LN05	完掘	長方形	450×370	K	北	100×80	○	N-1-E	10C 2 半期		''
15	1975	第2次LN19	14住こり序れる			K	東				9C 4 半期	支脚が立脚	''
16	1975	第2次LN14	完掘	長方形	370×260	K	北	90×80	○	N-4-E	9C 3 半期		''
17	1975	第2次LN12	南側未掘	長方形	700×						6C	紡錘車	''
18	1975	第2次LN33		17住と大きく重複し全体不明									''
19	1975	第2次LN06	完掘	隅丸方形	410×420	K	北東		○	N-45-E	6C 後半	良好	''
20	1975	第2次LN22	完掘	長方形	410×330	K	北	120×120	○	N-29-W			''
21	1975	第2次LN53	完掘	長方形	350×280	K	東	70×60	○	N-87-E	10C 2 半期	22住を切る	''
22	1975	第2次LN54	部分	方形	330×320	炉	地床炉				五頷		''
23	1975	第2次LN20	3/5	(長方形)	×350	K	北		○	N-23-E	9C 2 半期	鍛冶工房跡	''
24	1975	第2次LN21	ほぼ完掘	正方形	580	K	北西	50×70	○	N-43-W	鬼高		''
25	1977	第3次1号住居	南東隅のみ	(長方形)		K	東	途中で廃絶	○				川崎遺跡第3次
26	1977	第3次2号住居	完掘	長方形	350×330	K	北	×70	○		国分	鉄製品多い	''
27	1977	第3次4号住居	(完掘)	長方形	350×400	K	東	170×110	○		国分		''、埋文調査19
28	1977	第3次5号住居	(完掘)	長方形	350×320	K	東	120×90	○		国分		''、埋文調査19
29	1977	第3次6号住居	4/5	正方形	440×	K	北	155×90	○		9C 4 半期	焼失家屋	''
30	1977	第3次9号住居	1/2	(方形)	415×				○		国分		''
31	1979	第6次1B住居			340×				○		9C 2 半期		埋蔵文化財の調査II
32	1979	第6次2号住居	1/3		340×	K	北→東	140×80	○		9C 1 半期	鉄製品多い	''
33	1984	宅地添第4次3住	完掘	正方形	340×340	K	東	120×100	○		8C 3 半期		埋蔵文化財の調査VII
34	1990	第13次1号住居	1/2～1/3		390×	K			○		7C 後半		埋蔵文化財の調査13
35	1990	第14次2号住居	南1/2		340×	K	東		○		9C 1 半期		''
36	1991	第15次1号住居			395×285	K	北東				9C～10C		埋蔵文化財の調査14
37	1991	第15次2号住居		正方形	380×380	K	東				9C 中葉		''
38	1991	第15次3号住居	完掘	長方形	265×430	K	南東		○		9C 初頭		''
39	1991	第15次4号住居	1/2	正方形	580×	K	東		○		8C 末～9C 初頭		''
40	1991	第15次5号住居	3/4		280×	K	北		○		9C 前半～中		''
41	1991	第15次6号住居		正方形	425×270	K	北		○		8C 後半	35.36 住と重複	''
42	1991	第15次7号住居	1/2	正方形	570×	K	北		○		9C 前半	緑釉陶器、 焼失家屋	''
43	1994	第16次1号住居	1/2		450×				○		9C 前半～後半		未報告
44	1994	第16次2号住居	北西隅のみ								9C 前半～後半		''
45	1994	第16次5号住居	2/3		440×	K	東		○		9C 前半～後半		''
46	1994	第16次6号住居	カマドのみ			K	東						''
	1994	第16次1号掘立	2/3	長方形									''
	1994	第16次2号掘立	西側柱のみ	長方形							9C 前半～後半	42 住と隣接	''
	1994	第16次3号掘立	完掘	長方形	南北3間 東西2間						''	''	''
	1994	第16次4号掘立	完掘	長方形	南北3間 東西2間						''	''	''
	1994	第16次5号掘立	1/2	長方形	南北2間						''	''	''
	1994	第16次6号掘立	完掘		南北3間 東西2間						''	''	''
47	1996	第17次1号住居	完掘	長方形	400×400	K	東		○		国分	墨書土器	埋蔵文化財の調査19
48	1996	第18次2号住居	完掘	長方形	300×300	K	東		○		国分		埋蔵文化財の調査19
49	2001	第19次1号住居	1/2		360×	K					9C 前半		埋蔵文化財の調査24
50	2005	第20次1号住居	完掘	長方形	320×350	K	北西		○	N-45-W	7C 前半～中		市内遺跡群1
51	2006	第21次1号住居	完掘	方形	410×365×10	K	東	145×125	○	N-106-E	9C 後半		市内遺跡群3
	2008	第25地点1号掘立		長方形	南北2間 東西2間								市内遺跡群6
52	2008	第26地点H28号住居	完掘	方形	349×316×33	K	北	95×83	○	N-16-E	9C 後半		''
53	2008	第26地点H29号住居	北側のみ	(方形)	431×205×24	K	北	70×	○	N-16-E	9C 後半		''
54	2008	第26地点H30号住居	完掘	長方形	424×296×20	K	北	98×71	○	N-4-E	8C 後半		''
55	2008	第28地点H31a号住居	北側のみ	(方形)	(390)×(233)×15	K	北	88×84		N-19-E	8C 中～後半		''
56	2008	第28地点H31b号住居	北側のみ	(方形)	(404)×325×2				○	N-18-E			''
57	2008	第28地点H32号住居	完掘	長方形	357×295×24	K	東	108×80	○	N-105-E	8C 中～後半		''
58	2008	第29地点H33号住居	北東のみ	(方形)	(214)×(205)×16	K	東	(65)×(65)	○	N-98-E	8C 後半～9C 初頭		''
59	2008	第29地点H34号住居	完掘	方形	(378)×372×12	K	北	71×90	○	N-16-E	9C 後半	墨書土器	''
60	2008	第30地点H35号住居	完掘	長方形	294×232×26	K	東	141×88	○	N-104-E	9C 前半		''
61	2008	第30地点H37号住居	完掘	方形	415×414×21	K	北	88×140	○	N-16-E	9C 後半	灰釉陶器	''
62	2008	第30地点H38号住居	1/2	(方形)	375×(105)×17				○	N-5-E	9C 後半	墨書土器	''



第5図 川崎遺跡遺構分布図 (1/2,500)

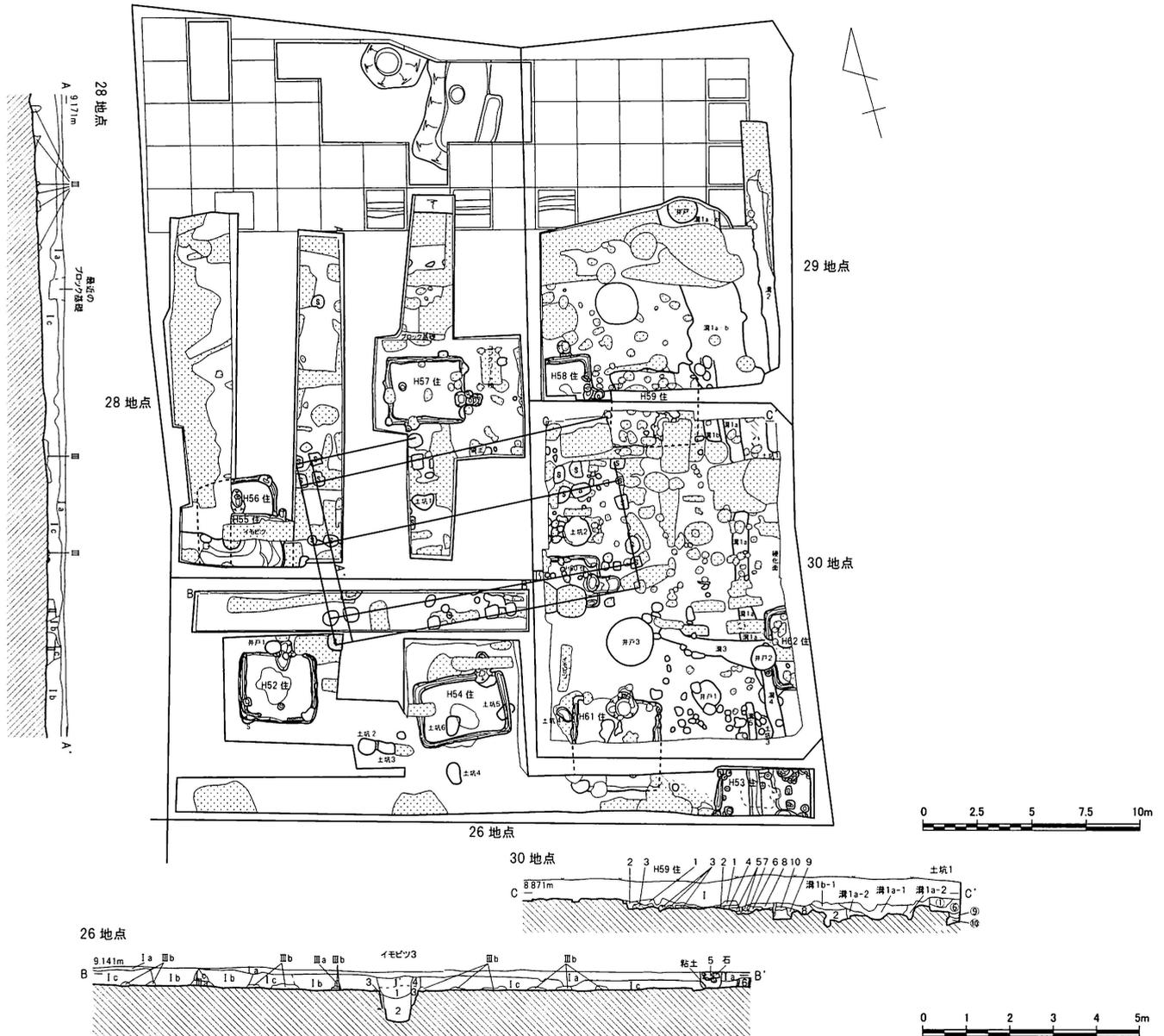
Ⅲ 川崎遺跡第 26 地点

(1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より 2008 年 3 月 7 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地の北端に近い台地上に立地し、隣接地では古代の住居跡等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 4 月 21 日に幅約 2 m のトレンチを 3 本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、奈良・平安時代の遺構・遺物を確認したが、遺構確認面まで 40～50 cm と浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

本調査は 2008 年 4 月 22 日から同年 5 月 17 日まで、



- A-A'
- I a. 暗褐色土 表土・盛土、砕石、10mm 以下ロームブロック、黒灰色土ブロック含む、転圧受け、締り強い
  - I b. 暗褐色土 表土、40mm 以下ロームブロック多く含む、締り強い
  - I c. 暗褐色土 表土・耕作土、20mm 以下ロームブロック、ローム粒少し含む、締り強い
  - II. 黒褐色土 包含層、3mm 以下ローム粒、10mm 厚灰色粘土ブロック、2～10mm 焼土少し含む、土器片含む（土器口線部）、締り強い
- B-B'
- I a. 黒褐色土 締り強、粘性有、盛土層、40mm 厚のローム主体層をはさむ
  - I b. 暗褐色土 締り有、粘性有、耕作土、最大 10cm、およそ 50mm 以下ロームブロックをやや多く含む、イモビツの覆土は I b 層に似る

- I c. 暗褐色土 締り有、粘性有、耕作土、締り強め、3mm 以下ローム粒少し、3mm 以下焼土わずかに含む、礎石に切られる、ミソ状のプランの土は I c 層に似る
- III a. 地山暗褐色土 3mm 以下ローム粒、焼土わずかに含む
- 1. 暗褐色土 締り強、粘性有、30mm 以下ロームブロック、ローム粒多く含む
- 1'. 暗褐色土 締り強、粘性有、30mm 以下ロームブロック、ローム粒多く含む、I b より多め、1層土が水・転圧の影響で硬くなっただけの可能性あり
- 2. 暗褐色土 締り有、粘性やや弱、40mm 以下ロームブロック、ローム粒多く含む、1層より多め
- 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、20mm 以下ロームブロック、ローム粒やや多く含む
- 4. 3層が変質してボソボソしている
- 5. 暗褐色土 締り強、粘性有、15cm 以下灰色粘土ブロック多く含む、3mm 以下ローム粒少し含む、礎石
- 6. 暗褐色土 締り強、粘性有、10mm 以下ロームブロック・焼土・灰色粘土少し含む、15mm 炭化物わずかに含む、掘方壁面は焼けて赤化している

第 10 図 川崎遺跡第 26・28・29・30 地点遺構配置図 (1/300)、土層図 (1/150)

## V 川崎遺跡第 28 地点

## (1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より 2008 年 6 月 20 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は台地の北端に近い平坦面に立地し、隣接地では古代の住居跡等を検出している。申請地の北側の一部は個人住宅建設に伴い 1978 年 5 月に調査済みで、井戸 2 基・溝 1 条・地下坑 1 基を検出した。だが、申請地の南側は未調査のため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 7 月 4～9 日に行なわれた。幅約 2 m のトレンチを 3 本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、奈良・平安時代の遺構・遺物を確認したが、遺構確認面まで 40～50 cm と浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

本調査は 2008 年 7 月 10 日から同年 8 月 8 日まで、試掘調査で確認した遺構の場所を重機で表土除去後、調査を行なった。調査の結果、奈良・平安時代の住居跡 3 軒、近世以降の溝状遺構、土坑を検出し、写真撮影・全測図作成・平板および遣り方測量による遺構図面作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

## (2) 遺構と遺物

## ① H 55 号住居跡 (旧 H 31 a 号住居跡)

【位置】調査区の南西に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。56 号住居跡と重複し、同住居跡を壊して構築する。イモビツによって一部壊され、南側もブロック塀の下に入り規模・形態不明。6.5 m 北東側に H57 号住居跡、4 m 南側に H52 号住居跡がある。

【形状】主軸方位は N - 19° - E、北壁東端に竈を備える。平面形態は方形か長方形、規模は主軸方位の南北が 2.33 m 以上、東西 3.90 m、確認面からの深さ 0.15 m である。覆土はローム粒含む黒褐色土。

【竈】燃焼部は壁外へ僅かに張り出して掘られている。右側の袖部に粘土が僅かに残る。奥行き 0.88 m、幅 0.84 m。深さ 0.12 m。

【床・壁】住居跡西側の遺存状況は良好だが、東側は攪乱を受ける。貼床の土層はローム主体、暗褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。

【出土遺物】4 点出土したのみである。須恵器坏、土

師器甕等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から 8 世紀中～後半代と推定される。

## ② H 56 号住居跡 (旧 H 31 b 号住居跡)

【位置】調査区の南西に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。H55 号住居と重複し、同住居跡に壊される。イモビツによって一部壊され、南側もブロック塀の下に入り規模・形態不明。6.5 m 北東側に H57 号住居跡、4 m 南側に H52 号住居跡がある。

【形状】主軸方位は N - 18° - E、平面形態は方形か長方形、規模は南北 4.04 m 以上、東西 3.25 m、確認面と床面はほぼ同レベルである。

【周溝】北壁と東壁壁際に浅い溝が巡る。西壁際は土層断面で確認できた。幅 12～24 cm、深さ 2～7 cm。

【床・壁】住居跡中央の床面は硬化する。貼床の土層はローム主体、暗褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘方は、中央を残し、周囲が深くなる。

【出土遺物】西壁際に土師器が出土したのみである。須恵器坏、土師器甕等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から 8 世紀中～後半代と推定される。

## ③ H 57 号住居跡 (旧 H 32 号住居跡)

【位置】調査区の中央東側に位置し、遺跡全体の分布では中央部に位置する。6.5 m 南西側に H55 号住居跡と H56 号住居跡、11.5 m 南側に H54 号住居跡、3.5 m 東側に H58 号住居跡がある。

【形状】主軸方位は N - 105° - E、東壁南寄りに竈を備える。平面形態は長方形、規模は主軸方位の東西 3.57 m、東西 2.95 m、確認面からの深さ 0.24 m である。覆土はローム粒を含む黒褐色土。

【竈】燃焼部は壁外に張り出して掘られている。右側の袖部に粘土が残る。袖からの奥行き 1.15 m、幅 1.05 m。竈内部の幅 0.50 m。深さ 0.41 m。

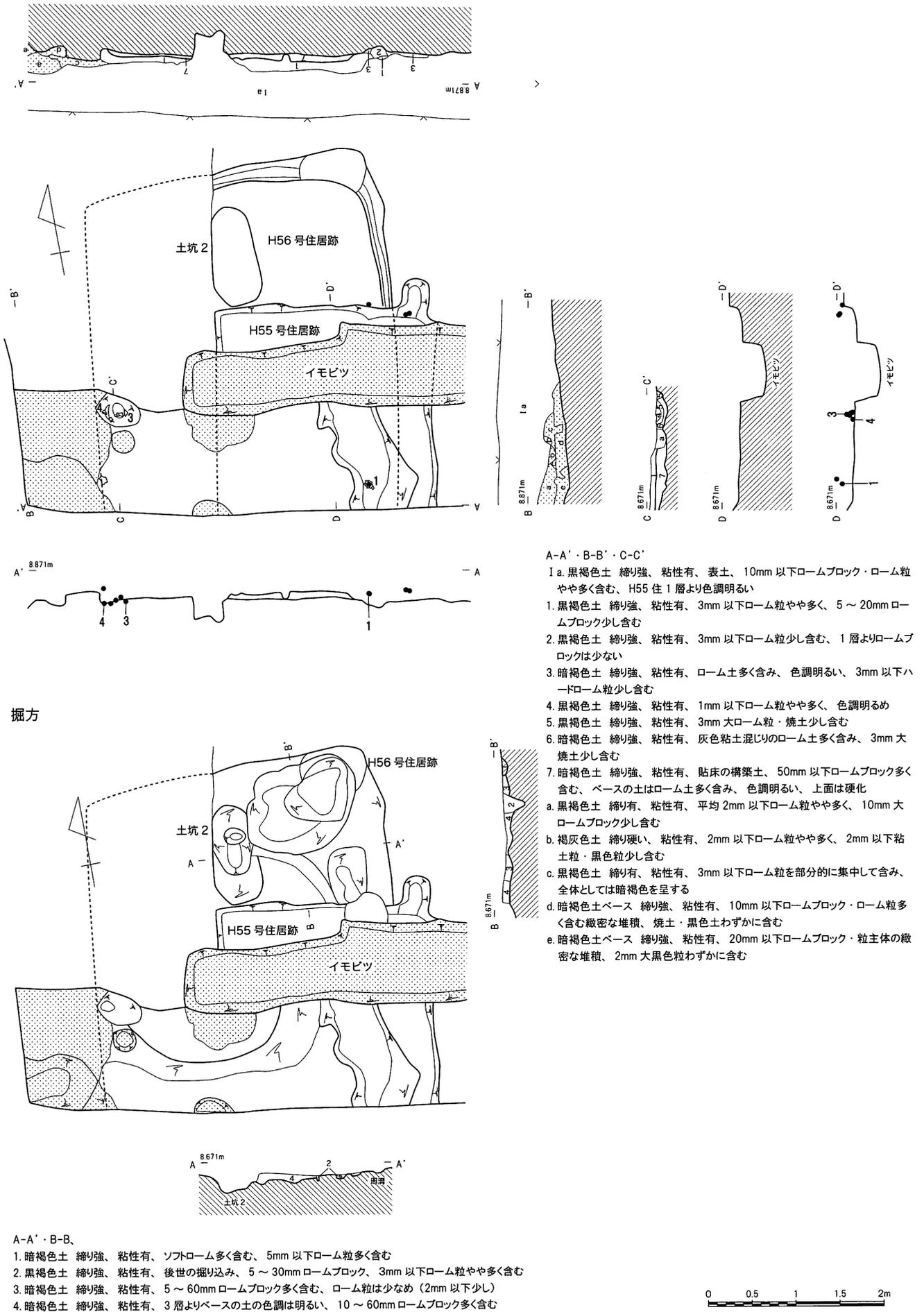
竈の手前に窪みがある。

【周溝】竈がある東壁を除き壁際に溝が巡る。幅 12～25 cm、深さ 5～10 cm。

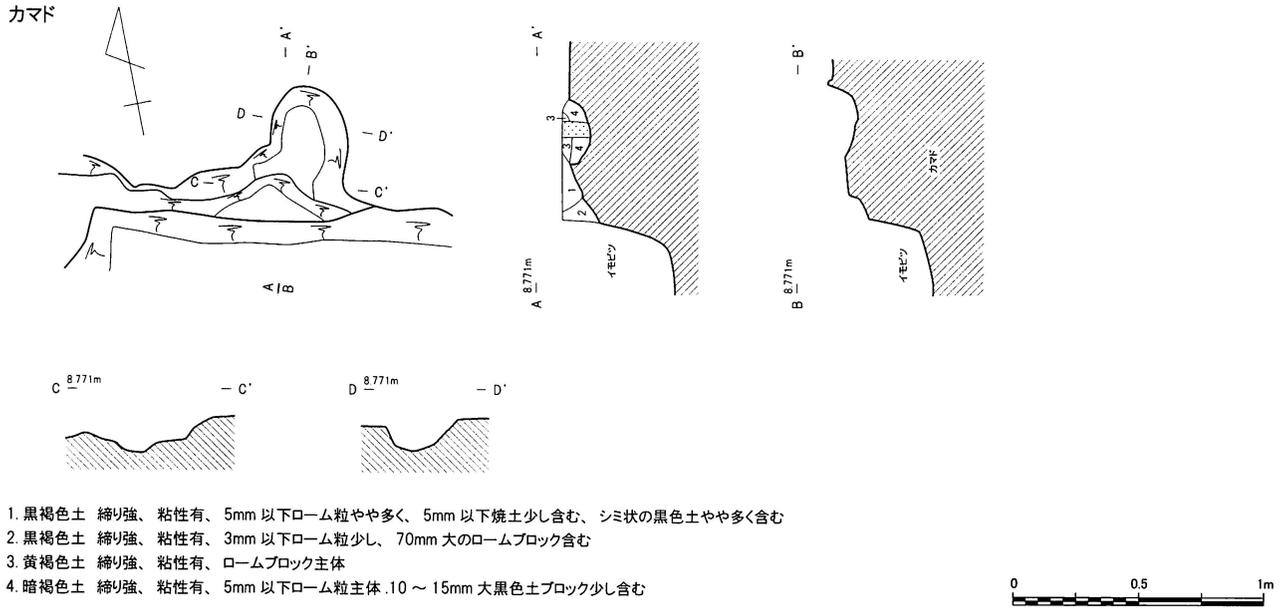
【床・壁】貼床の土層はローム主体、黒褐色土が混じる。壁は垂直に立ち上がる。掘方は、中央が若干高いものの、全体に浅く平坦に掘られている。

【出土遺物】住居全体から少量出土している。須恵器坏・蓋・甕等が出土した。

【時期】出土土器の特徴から 8 世紀中～後半代と推定される。



第 24 図 川崎遺跡第 28 地点 H55・H56 号住居跡・掘方 (1/60)

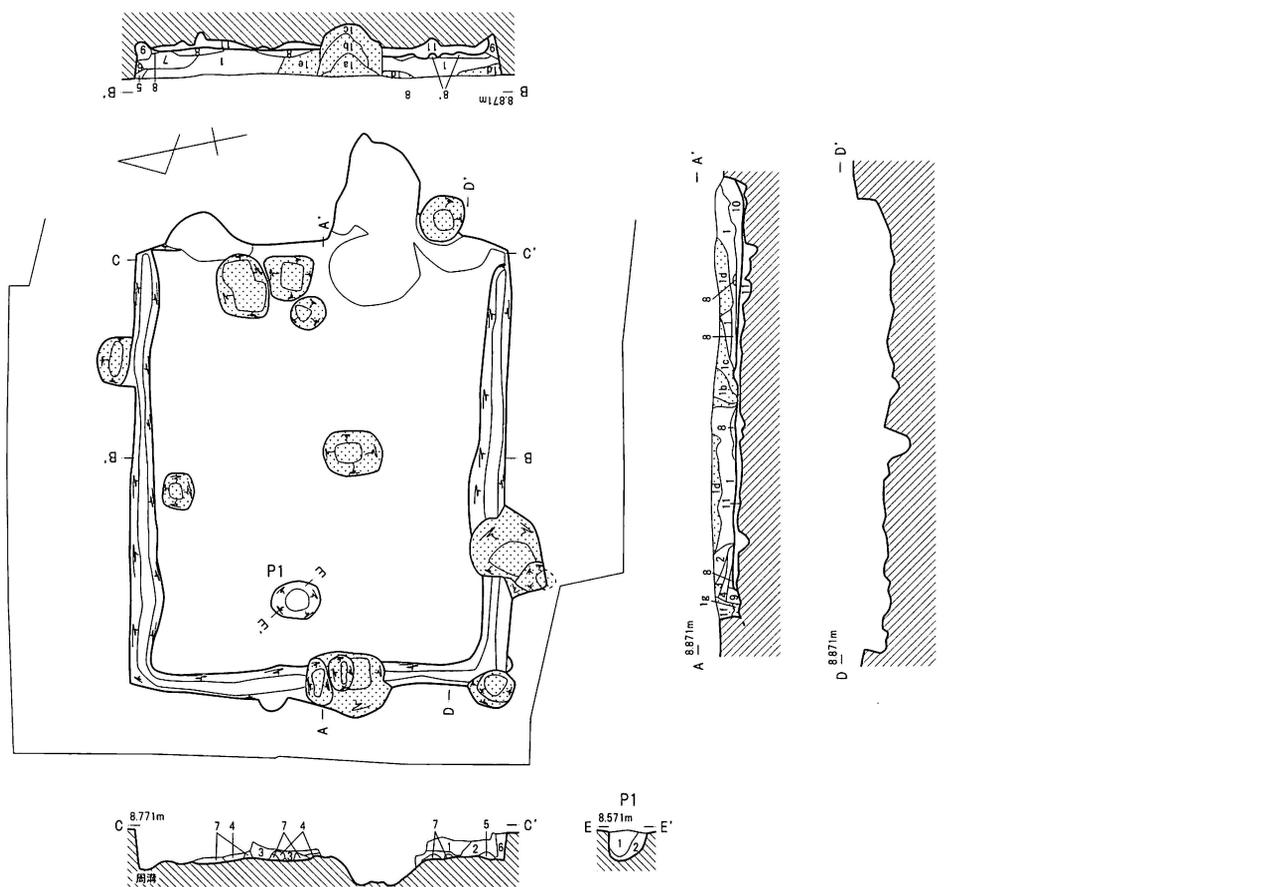


1. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多く、5mm 以下焼土少し含む、シミ状の黒色土やや多く含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒少し、70mm 大のロームブロック含む
3. 黄褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック主体
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒主体、10～15mm 大黒色土ブロック少し含む

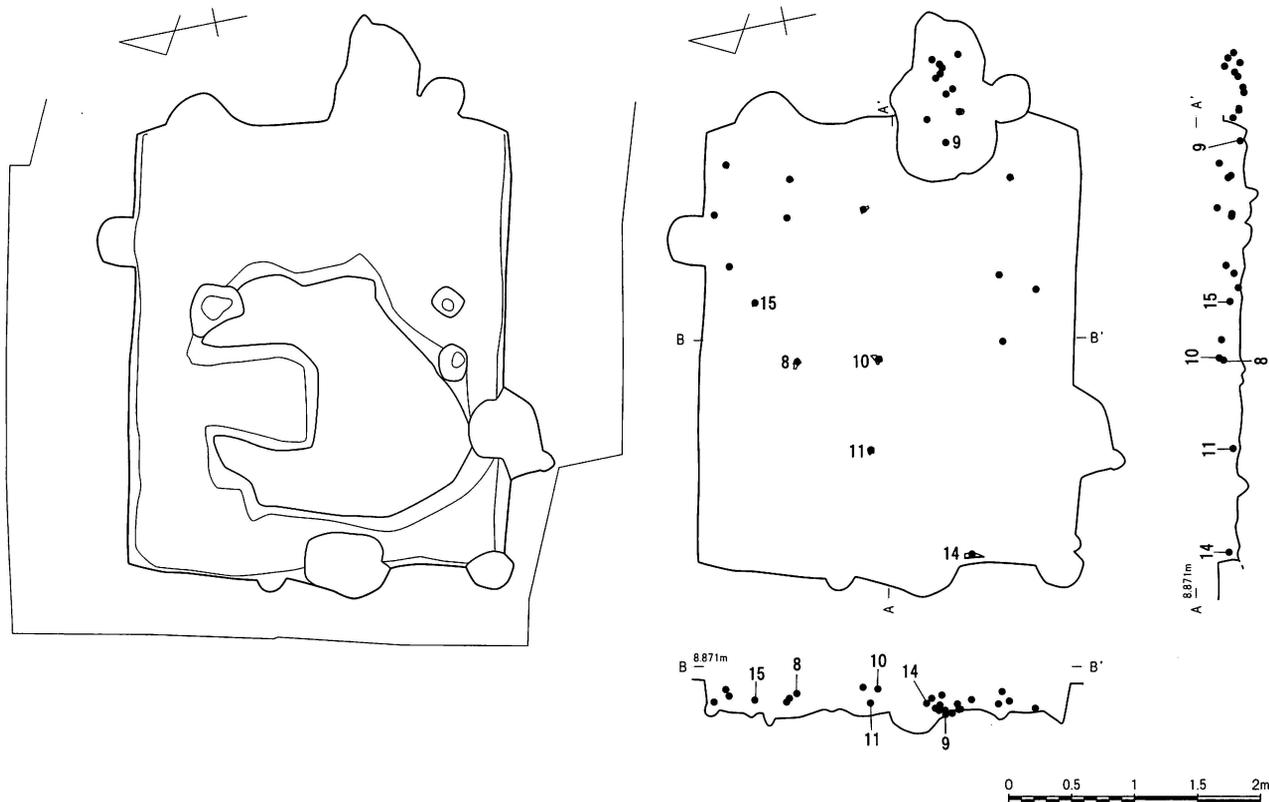
第 25 図 川崎遺跡第 28 地点 H55 号住居跡竈 (1/30)

第 14 表 川崎遺跡第 28 地点出土遺物観察表 (単位cm)

図版番号	掲載番号	遺構名	種別・器種	口径・長	底径・幅	器高・厚	技法 / 文様 / その他	石材 / 推定産地	推定年代・時期	残存 / 備考
29 図	1	H55 号住居跡	須恵器・環	(12.5)	(8.0)	3.9	轆轤成形。回転糸切後外周回転窓削り / 灰白色 / 砂粒 (~ 0.5 mm) 多量含む / 注No 1 (旧 H31a 号住)	産地不明	8C 後半	1/4 以下残存
	2	H55 号住居跡	須恵器・環	-	(7.0)	-	轆轤成形。回転糸切後未調整 / 砂粒 (~ 0.5 mm) 多量含む / 浅黄褐色 / 注No H1 (旧 H31a 号住)	南比企?	9C	底部
	3	H55 号住居跡	土師器・甕	(23.0)	-	-	粘土粗積上。口縁部横撫で / にぶい黄褐色 / 砂粒・角閃石 (~ 0.5 mm) 多量含む / 注No 7 (旧 H31a 号住)		9C	口縁部片
	4	H55 号住居跡	土師器・甕	(22.0)	-	-	粘土粗積上。口縁部横撫で / にぶい赤褐色 / 砂粒・角閃石 (~ 0.5 mm) 多量含む / 外面煤付着 / 注No 3 (旧 H31a 号住)		9C	口縁部片
	5	H55 号住居跡	瓦質土器	-	-	-	粘土粗積上。外面叩き締め / 褐色 / 砂粒・角閃石 (~ 0.5 mm) 多量含む / 注No H 1 (旧 H31a 号住)			胴部破片
	6	H57 号住居跡	縄文土器・鉢	-	-	-	R を軸として細い糸を逆巻きにした付加糸縄文 / 胎土に食物繊維含む / 注No D 区 1 (旧 H32 号住)		縄文前期・羽状縄文系	胴部破片 / No 7 と同一個体の可能性有
	7	H57 号住居跡	縄文土器・鉢	-	-	-	連続爪形文を平行に施文する / 砂粒 (~ 1 mm) 多量含む / 注No D 区 1 (旧 H32 号住)		縄文前期・黒浜 (有尾系)	胴部破片 / No 6 と同一個体の可能性有
	8	H57 号住居跡	須恵器・蓋	(16.0)	-	-	轆轤成形 / 口縁部は屈曲する / 黄灰色 / 砂粒 (~ 1 mm) 少量含む / 注No 7 (旧 H32 号住)	南比企	8C 後半	口縁部片
	9	H57 号住居跡	須恵器・環	13.4	8.0	3.2	轆轤成形。右回転糸切後未調整 / 灰黄色 / 砂粒 (~ 0.5 mm) 多量含む / 注No カマド No 11 (旧 H32 号住)	南比企	8C 後半	3/4 以上残存
	10	H57 号住居跡	須恵器・環	(15.7)	(10.2)	3.8	轆轤成形。右回転糸切後未調整 / 灰黄色 / 砂粒 (~ 0.5 mm) 少量含む / 注No 6 (旧 H32 号住)	南比企	8C 後半	1/4 以下残存
	11	H57 号住居跡	須恵器・環	-	(7.2)	-	轆轤成形。回転糸切後未調整 / 灰黄色 / 砂粒 (~ 0.5 mm) 少量含む、海面骨針含む / 注No 2 (旧 H32 号住)	南比企	8C 後半	底部
	12	H57 号住居跡	須恵器・環	-	(7.0)	-	轆轤成形。回転糸切後、外周回転窓削り / 灰色 / 砂粒 (~ 0.5 mm) 多量含む / 注No C 区 (旧 H32 号住)	東金子	8C 後半	底部
	13	H57 号住居跡	須恵器・甕	-	-	-	粘土粗積上後、轆轤調整 / 肩部に自然釉 / 灰色 / 砂粒 (~ 3 mm) 多量含む / 注No A 区 1 (旧 H33 号住)	南比企	奈良・平安	肩部破片
	14	H57 号住居跡	須恵器・甕	-	-	-	粘土粗積上外面叩き締め / 灰色 / 砂粒 (~ 3mm) 多量含む / 注No 1 (旧 H32 号住)	東金子	奈良・平安	胴部片
	15	H57 号住居跡	須恵器・甕	-	14.4	-	粘土粗積上後、轆轤調整 / 灰色 / 砂粒 (~ 3 mm) 多量含む / 注No 8、D 区 1 (旧 H33 号住)	南比企	奈良・平安	底部
30 図	16	土坑 2	須恵器・環	12.2	7.5	3.6	轆轤成形。右回転糸切後未調整 / 灰オレンジ色 / 砂粒 (~ 5 mm) 多量含む / 注No 2D 付近	南比企	8C 後半	完形
	17	土坑 2	土器・かわらけ	-	(6.0)	-	轆轤成形。右回転糸切後未調整 / にぶい褐色 / 砂粒 (~ 0.5 mm) 少量含む / 注No 2D 付近		15・16C	底部
	18	土坑 2	須恵器・甕	-	14.6	-	粘土粗積上、外面叩き締め / 褐色 / 砂粒 (~ 3 mm) 多量含む / 注No 14、15	南比企	奈良・平安	底部
	19	土坑 2	土師器・甕	(21.0)	-	-	粘土粗積上。口縁部横撫で。胴部外面斜方向のへら削り。胴部内面横方向の撫で / 明赤褐色 / 砂粒 (~ 1 mm) 多量、輝石含む / 注No 2、3、5、7 ~ 13、16 ~ 18、26 ~ 32、34、35、37、38、42、43		9C	口縁部片
	20	土坑 2	土師器・甕	(20.8)	-	-	粘土粗積上。口縁部横撫で。胴部外面横方向のへら削り。胴部内面横方向の撫で / 褐色 / 砂粒 (~ 1 mm) 多量、輝石含む / 口縁部・胴部に煤付着 / 注No 12		8C	口縁部片
	21	遺構外	陶器・灯明皿	(10.0)	(4.4)	2.5	轆轤成形。回転糸切後、削出高台 / 灰釉、底部炉体 / オリーブ / 口縁部煤付着 / 注No H1	瀬戸・美濃	18C 第 3 ~ 19 C 第 3	完形
	22	遺構外	陶器・灯明皿	10.0	4.3	2.2	轆轤成形。底部回転窓削り / 灰釉、全面施釉後底部の釉ふき取り。細かい貫入有 / 灰黄色 / 口縁部煤付着 / 注No H1	瀬戸・美濃	18C 第 3 ~ 19 C 第 3	1/2 以下残存
	23	遺構外	陶器・灯明皿	(10.2)	4.2	2.2	轆轤成形。底部回転窓削り / 鉄釉、口縁から内面全面施釉 / 褐色 / 見込みと外面に重ね焼痕有 / 口縁部煤付着 / 注No H5	瀬戸・美濃	18C 第 3 ~ 19 C 第 3	1/2 以上残存
	24	遺構外	土製品・円盤状土製品	3.8	3.8	1.4	球状粘土を板状工具に挟んで、平らに押しつぶす。板からはみ出した部分を、指で押す / 灰黄色 / 注No H1			完形
	25	遺構外	石製品・硯	-	-	-	重量 37.02g / 硯面の一部が残る。裏面は剥離 / 注No H1	凝灰岩	近世~	破片
	26	遺構外	石製品・砥石	(8.2)	3.2	1.2	重量 64.10g / 砥面は 1 面。両側面、裏面にタガネ痕が残る / 注No H3		近世	一部欠

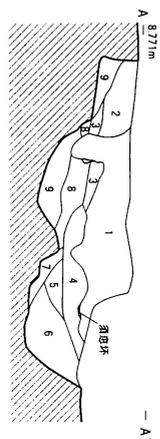


掘方

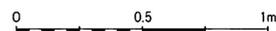
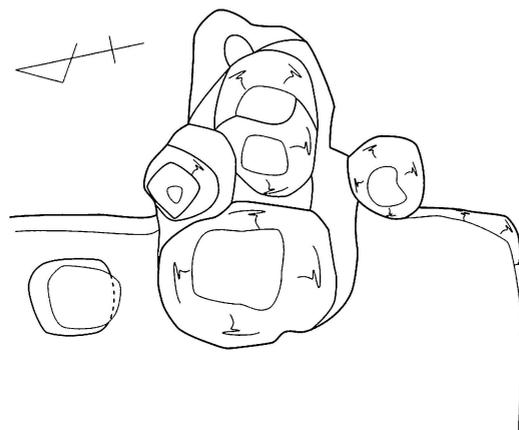
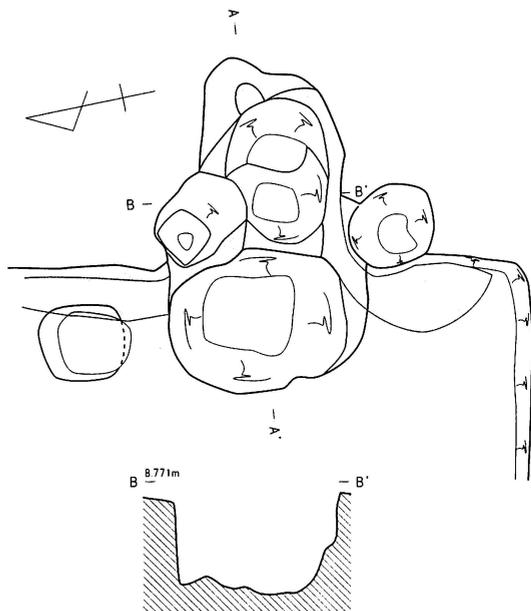


第26図 川崎遺跡第28地点H57号住居跡・掘方・遺物出土状況図(1/60)

## カマド



## 掘方



## A-A'・B-B'

- I a. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm ロームブロック、2mm 以下ローム粒少し含む  
 I b. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～15mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒やや多く含む  
 I c. 黒褐色土 締り強、粘性有、20mm 以下ロームブロック多く含む  
 I d. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し～やや多く、焼土わずかに含む、灰色味がある  
 I e. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒多く、10mm 大ロームブロック少し含む、灰色味がある  
 I f. 黒褐色土 5mm 以下ローム粒少し含む  
 I g. 黒褐色土 平均 20mm 以下ロームブロック多く含む  
 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、上層より色調暗く黒色味つよい、2mm 以下ローム粒少し～やや多く、3mm 以下焼土わずかに含む、5～20mm 大ロームブロック少し含む  
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多く含む、灰色味がある  
 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒多く含む、灰色味がある  
 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒やや多く含む、灰色味がある  
 5. 灰色土 締り強、粘性有、15mm 程のロームブロック含む  
 6. 暗褐色土 締り強い、粘性有、ローム土多く含み、酸化して硬化している  
 7. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多く、焼土わずかに含む  
 8. 暗黄褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒主体  
 8'. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒多く含む  
 9. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～20mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒やや多く含む、周溝の覆土  
 10. 褐灰色土 締り強、粘性有、灰色粘土含み、色調明るい、3mm 以下ローム粒多く、黒褐色土少し含む  
 11. 黄褐色土 + 黒褐色土 締り強い、粘性有、ローム主体、貫入するように黒褐色土が混ざり、黒褐色土には 5mm 以下ローム粒やや多く含む、貼床構築土

## C-C' (東壁際に、締り強い土が広く堆積していた)

1. 褐灰色土 締り強、粘性有、灰色粘土主体、酸化著しく、褐色味あり、15mm ロームブロック・2mm 以下焼土・5mm 大黒色土粒わずかに含む  
 2. 暗灰色土 締り強、粘性有、灰色粘土主体、酸化土(1層より色調暗い褐色)多く含む酸化した植物痕のような黒色土多く、2mm 以下焼土、5mm 以下ローム粒やや多く含む  
 3. 褐灰色土 締り強、粘性有、灰色粘土主体、3mm 以下ローム粒多く含む、5～10mm 黒褐色土少し含む  
 4. 褐灰色土 締り強、粘性有、粘土混じりのローム土主体、5mm 大黒褐色土やや多く含む、貼床の土に似る  
 5. 褐灰色土 締り強、粘性有、粘土混じりのローム土主体、5～10mm ローム土少し含む  
 6. 黒灰色土 締り強、粘性有、粘土混じりの黒褐色土、5～10mm ロームブロック、2mm 以下ローム粒やや多く含む  
 7. 地山ロームに近いが、酸化した暗～黒褐色土粒やや多く含む

## P1 E-E'

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～10mm ロームブロックやや多く含む  
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、20mm 以下ロームブロック粒主体

## カマド A-A'

1. 黒灰色土 締り強、粘性有、5～10mm ロームブロックやや多く、5mm 以下焼土少し含む、酸化土が多く、ポソポソしている  
 2. 褐灰色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒多く、5～20mm ロームブロック少し含む  
 3. 灰色土 締り強、粘性有、シルト質灰色粘土主体、5mm 以下ローム粒・焼土少し含む  
 4. 褐灰色土 締り強、粘性有、シルト質灰色粘土主体、5mm 以下ローム粒・焼土多く含む  
 5. 黒灰色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多く含む  
 6. 褐灰色土 締り強い、粘性有、5～50mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒多く含む  
 7. 黒褐色土 締り強、粘性有、20～60mm ロームブロック、3mm 以下ローム粒多く含む  
 8. 褐灰色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多く含む  
 9. 褐灰色土 締り強、粘性有、5～40mm ロームブロック多く含む  
 ※1～9層、粘土混じり

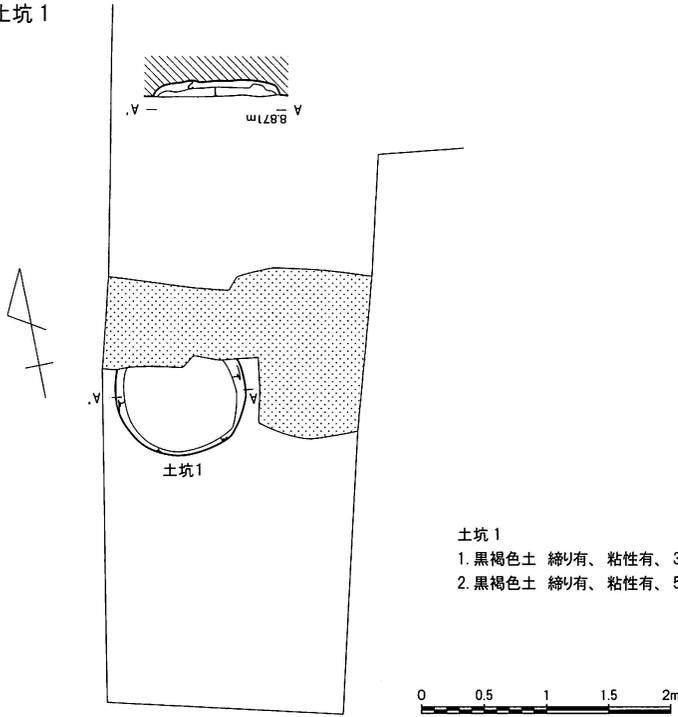
③土坑

土坑2はH 56号住居内にあり、住居に伴う貯蔵穴の可能性もある。須恵器坏・甕、土師器甕等が出土した。

第15表 川崎遺跡第28地点遺構一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
土坑1	円形	104 × (70)	86 × (65)	22	
土坑2	楕円形	111 × 55	45 × 24	29	56号住居の貯蔵穴か？ 土師器出土

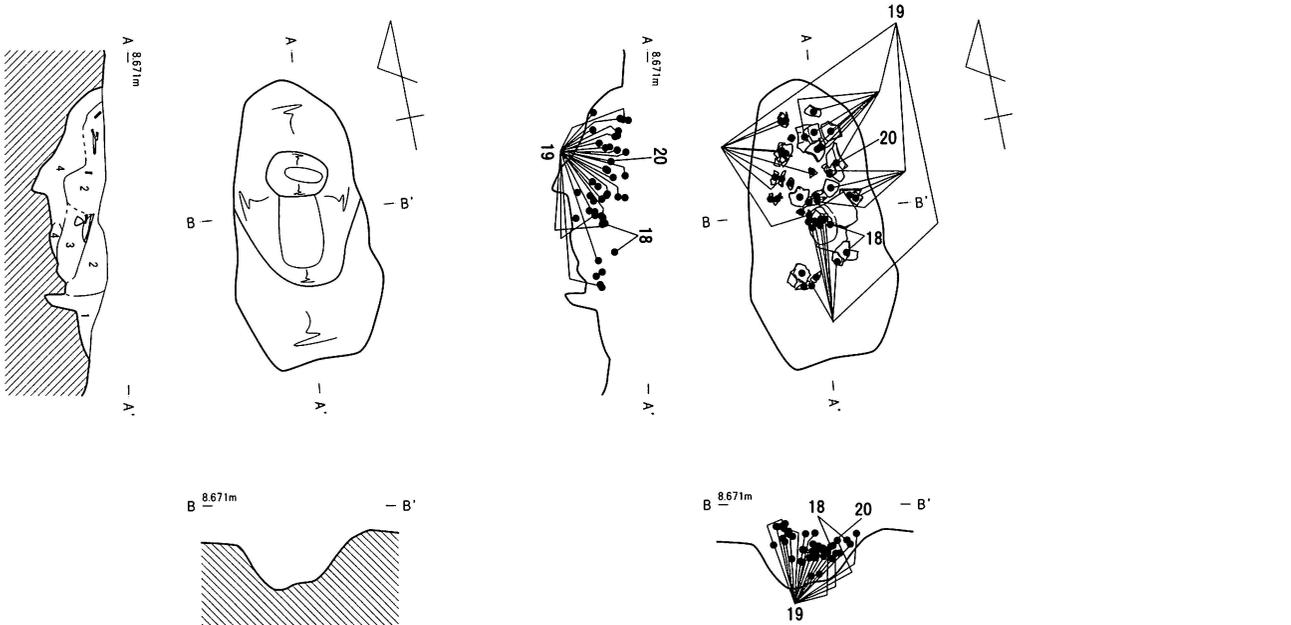
土坑1



土坑1

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm以下ローム粒少し、焼土わずかに含む、2層より色調明るい
2. 黒褐色土 締り有、粘性有、5～10mmロームブロック、3mm以下ローム粒少し含む

土坑2

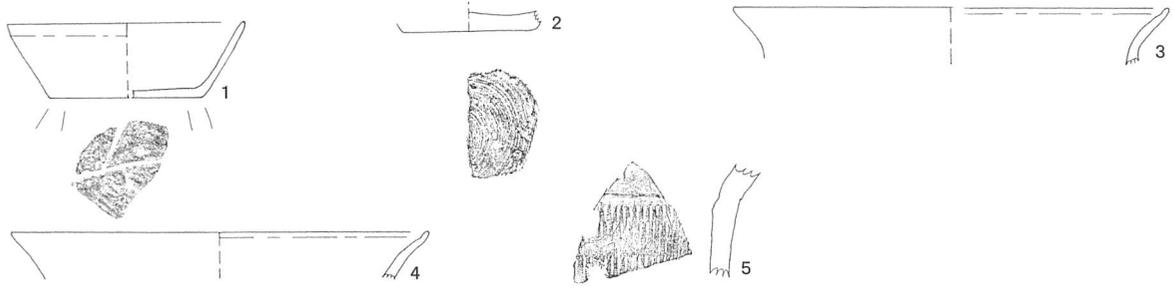


土坑2

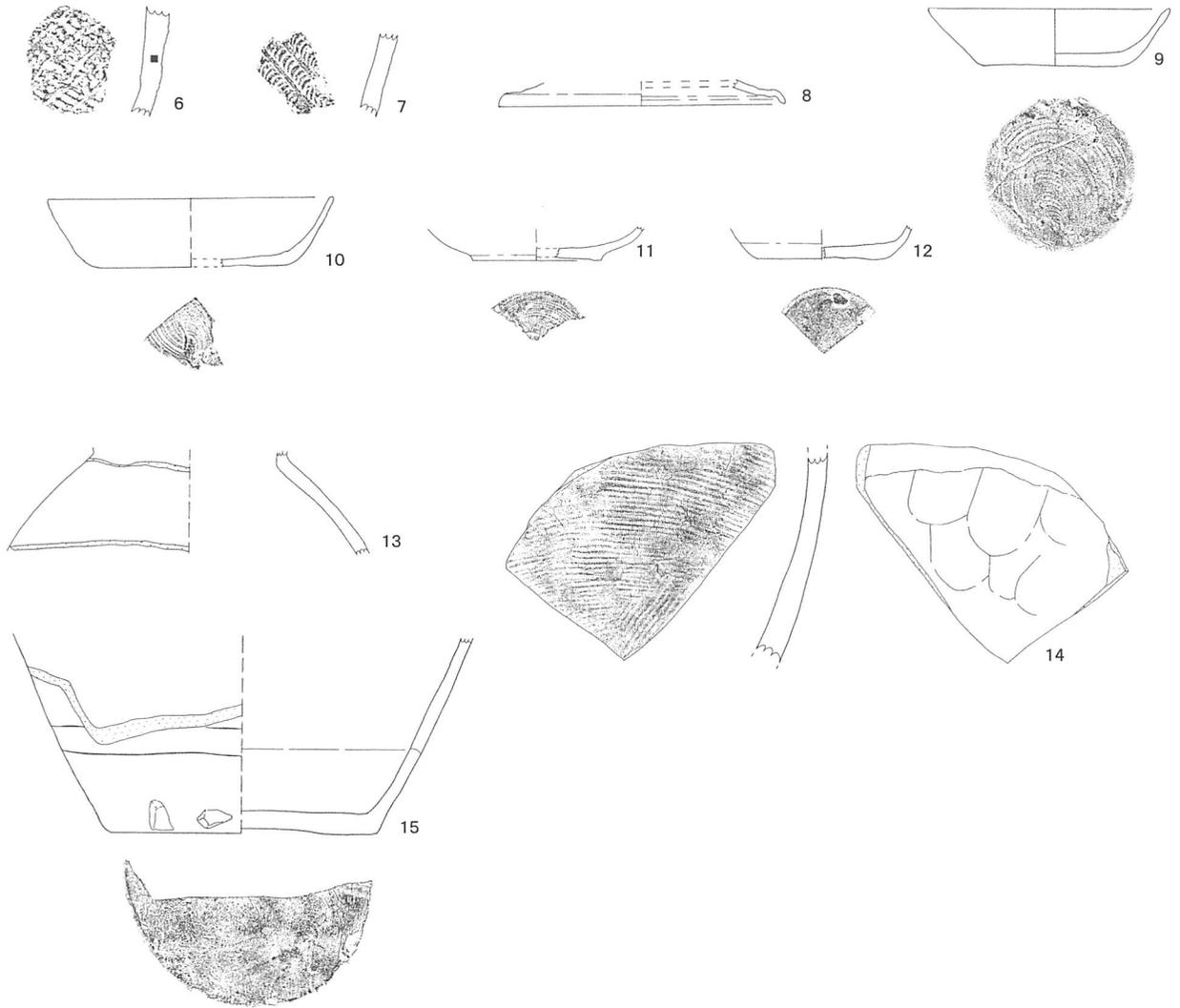
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒多く、2mm以下粘土少し、根攪乱
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒・焼土やや多く、しみ状の灰色粘土含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下灰色粘土粒多く、2mm以下焼土・ローム粒やや多く含む
4. 暗黄褐色土 締り強、粘性有、10mm以下ロームブロック・ローム土多く含む

第28図 川崎遺跡第28地点土坑1 (1/60)、土坑2 (1/30)

H55・H56 号住居跡

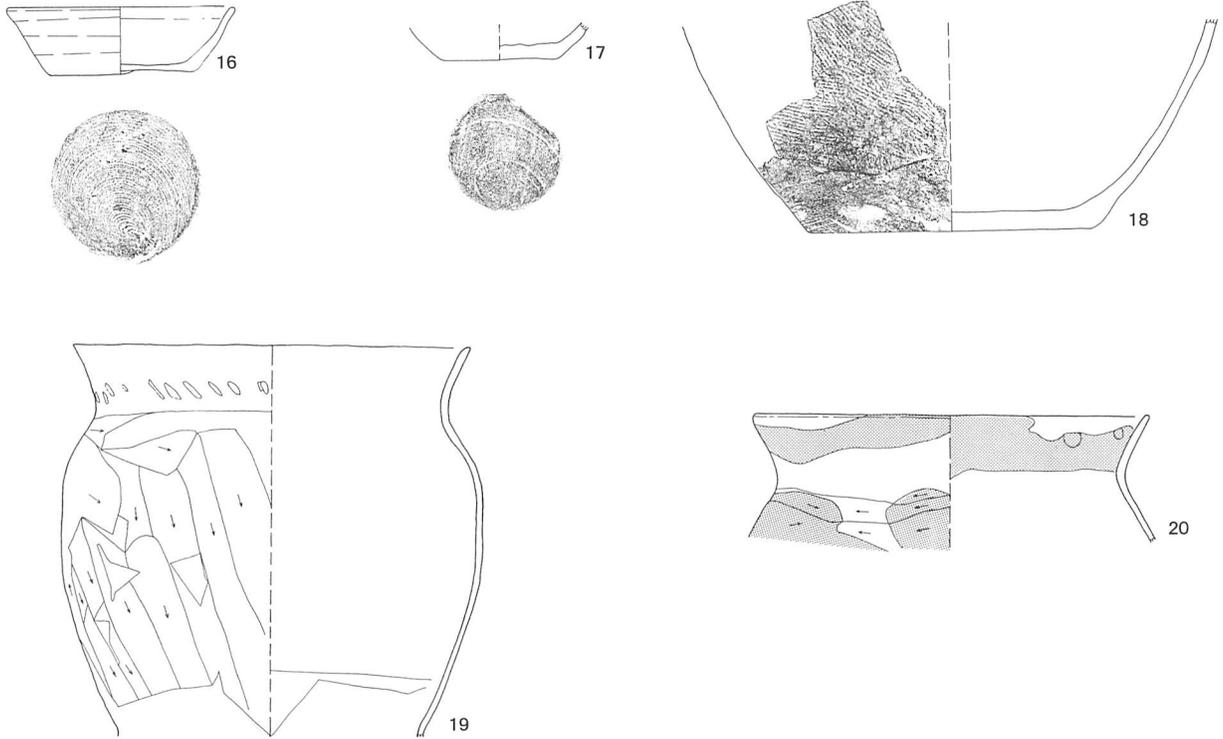


H57 号住居跡

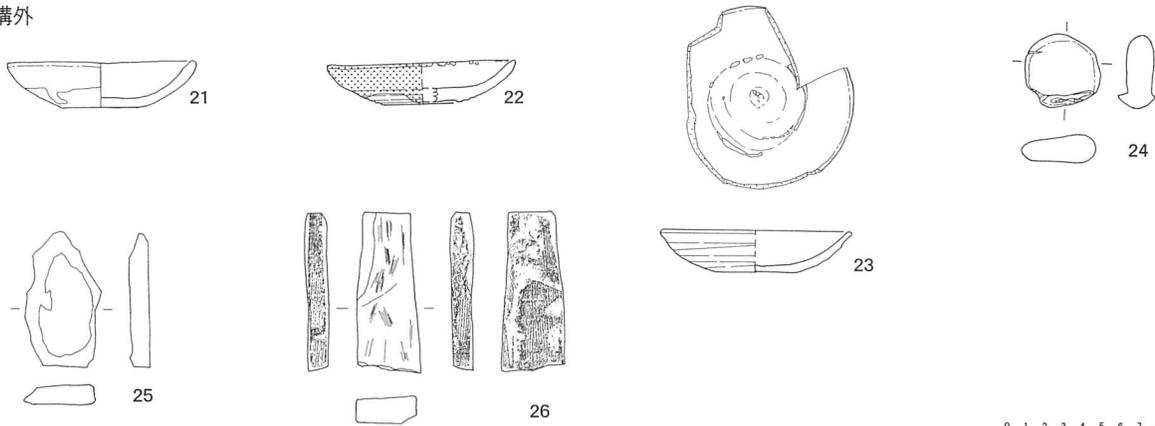


第 29 図 川崎遺跡第 28 地点 H55・H56・H57 号住居跡出土遺物 (1/4)

土坑2



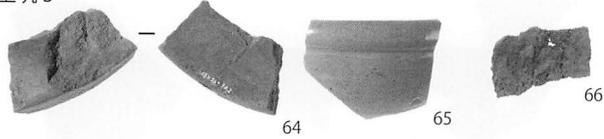
遺構外



第30図 川崎遺跡第28地点土坑・遺構外出土遺物(1/4)

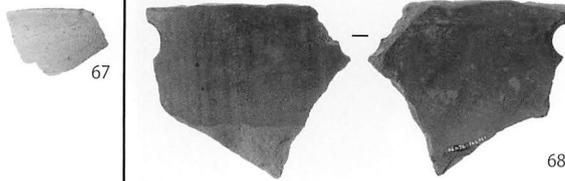
川崎遺跡第26地点(6)、27地点

土坑3

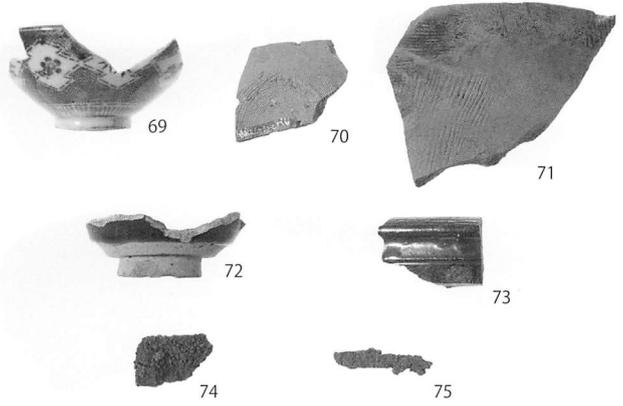


P4

遺構外



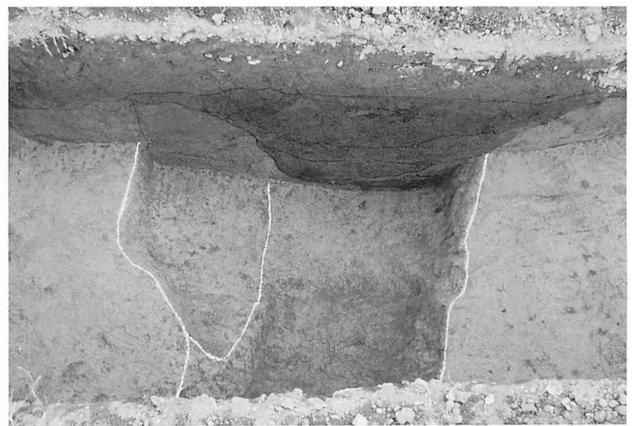
川崎遺跡第26地点土坑3、P4、遺構外出土遺物



川崎遺跡第26地点遺構外出土遺物 No.69～75



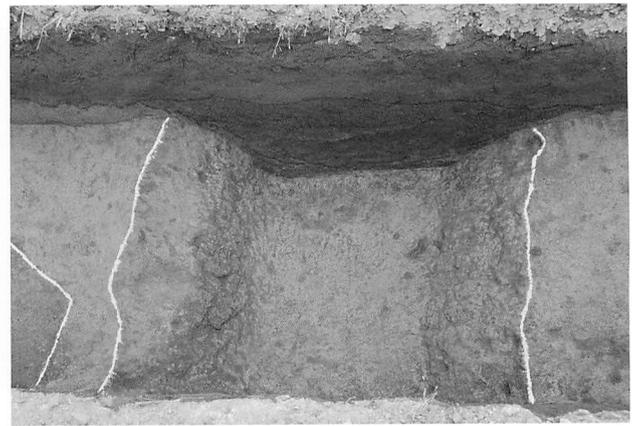
川崎遺跡第27地点全景



川崎遺跡第27地点トレンチ1溝1



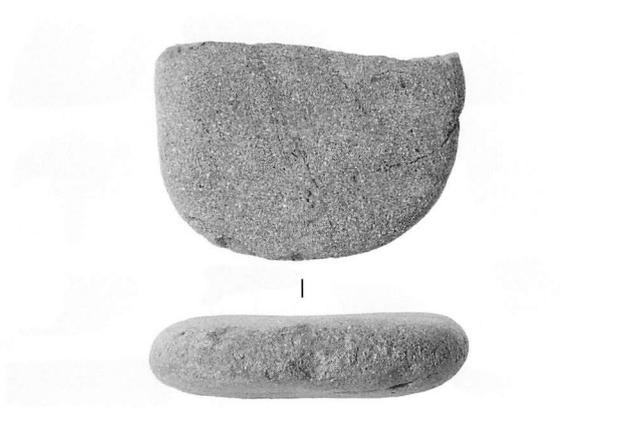
川崎遺跡第27地点トレンチ2・3



川崎遺跡第27地点トレンチ3



川崎遺跡第27地点調査風景



川崎遺跡第27地点出土遺物 No.1

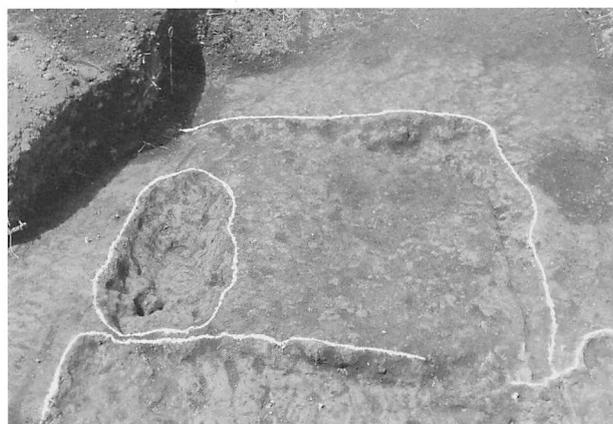
川崎遺跡第 28 地点 (1)



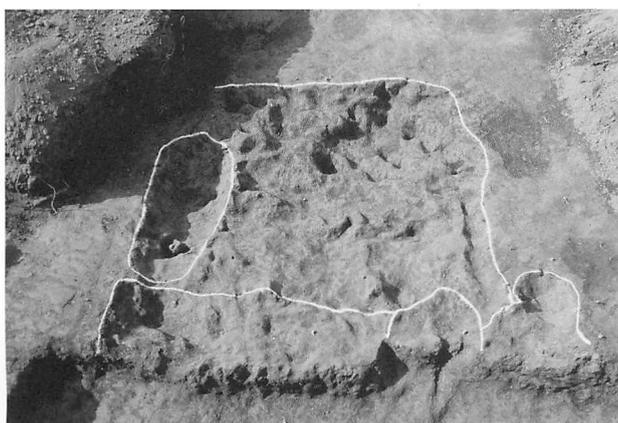
川崎遺跡第 28 地点 H55・56 号住居跡、土坑 2 全景



川崎遺跡第 28 地点 H55 号住居跡竈



川崎遺跡第 28 地点 H56 号住居跡、土坑 2



川崎遺跡第 28 地点 H56 号住居跡、土坑 2 完掘



川崎遺跡第 28 地点土坑 2 遺物出土状況

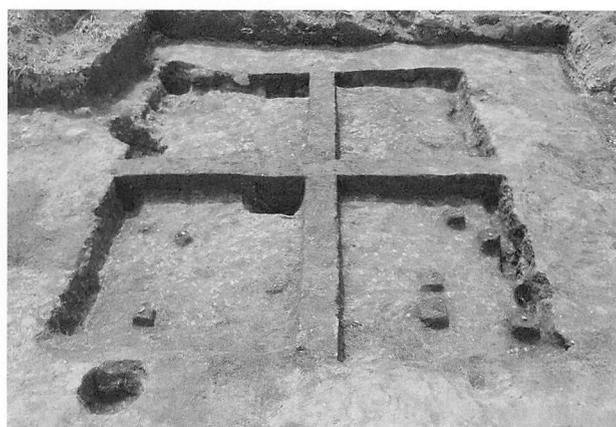
川崎遺跡第 28 地点 (2)



川崎遺跡第 28 地点 H57 号住居跡



川崎遺跡第 28 地点 H57 号住居跡竈遺物出土状況



川崎遺跡第 28 地点 H57 号住居跡遺物出土状況



川崎遺跡第 28 地点 H57 号住居跡遺物出土状況



川崎遺跡第 28 地点 H57 号住居跡掘方

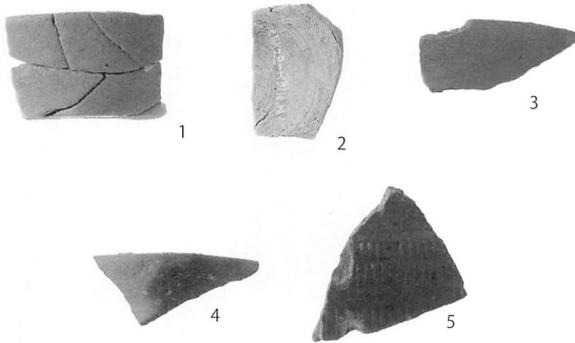
川崎遺跡第 28 地点 (3)



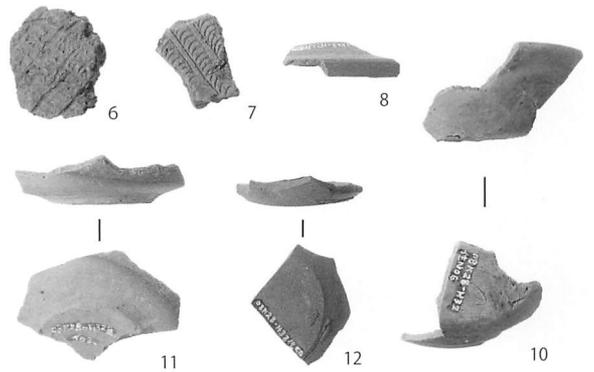
川崎遺跡第 28 ~ 30 地点全景



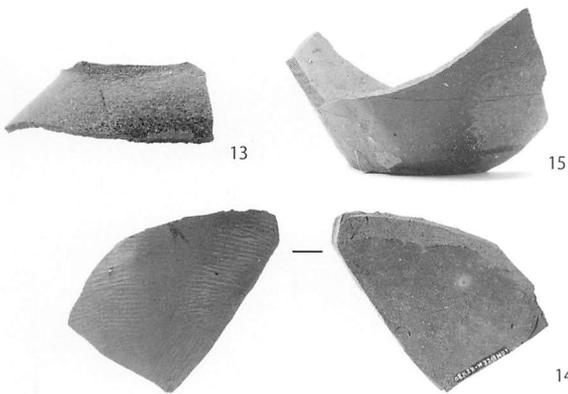
川崎遺跡第 28 地点土坑 1



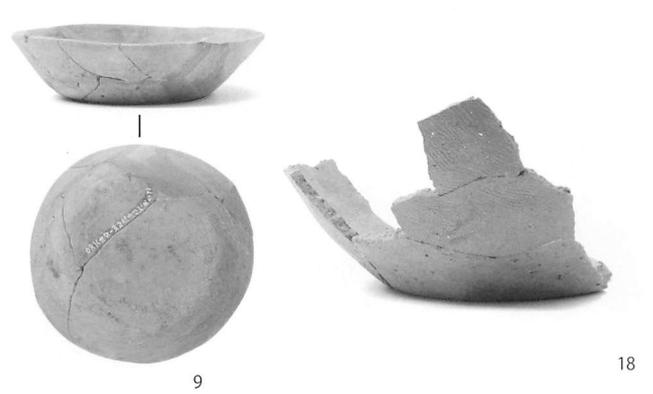
川崎遺跡第 28 地点 H55・56 号住居出土遺物 No.1 ~ 5



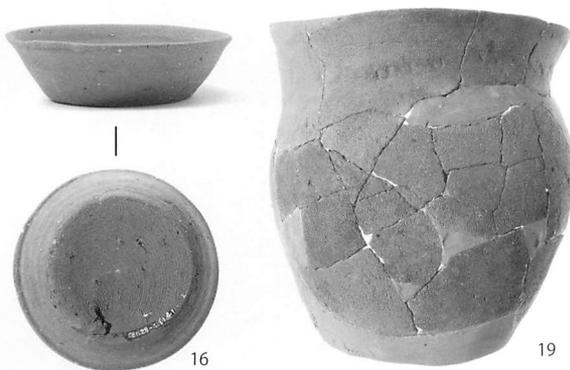
川崎遺跡第 28 地点 H57 号住居跡出土遺物 No.6 ~ 8・10 ~ 12



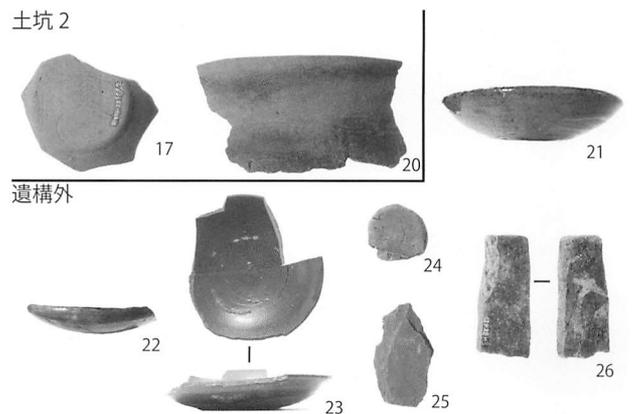
川崎遺跡第 28 地点 H57 号住居跡出土遺物 No.13 ~ 15



川崎遺跡第 28 地点住居跡出土遺物 No.9、土坑 2No.18



川崎遺跡第 28 地点土坑 2 出土遺物 No.16・19



川崎遺跡第 28 地点土坑 2、遺構外出土遺物 No.17・20 ~ 26

## 報告書抄録

書名	市内遺跡群6		シリーズ名	ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第7集			
編集者	高崎直成		著者	高崎直成			
編集機関	ふじみ野市教育委員会		所在地	〒356-8555 ふじみ野市大井中央一丁目1番1号 TEL 049 (261) 2811			
発行日	2011年(平成23年)11月30日						
所収遺跡地点名	所在地	市町村コード	北緯	調査開始	調査面積	調査原因	
		遺跡コード	東経	調査終了	m <sup>2</sup>	調査担当者	
	種別 / 主な時代・主な遺構・主な遺物						
特記事項							
川崎遺跡第25地点	川崎 203-1、203-3 の一部	112453	35° 53' 22"	20080414	55	個人住宅建設	
		25-003	139° 31' 13"	20080417		高崎直成	
	集落跡 / 平安時代・掘立柱建物跡1棟、近世・溝1条、地下室1基・縄文土器、灰釉陶器、土師器、須恵器、近世陶磁器 古代集落の北端で掘立柱建物跡を検出						
川崎遺跡第26地点	川崎 230-5	112453	35° 53' 17"	20080421	228	個人住宅建設	
		25-003	139° 31' 12"	20080517		越村篤	
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡4軒、土坑6基、ピット20基、近代以降の井戸1基・石器、土師器、須恵器、石製品、近世陶磁器 古代集落の中央で住居跡群を検出						
川崎遺跡第27地点	川崎 1-7-1	112453	35° 53' 06"	20080515	112	個人住宅建設	
		25-003	139° 31' 05"	20080521		坪田幹男・高崎直成	
	集落跡 / 時期不明の溝1条、土坑1基 東西に続く溝の一部を検出						
川崎遺跡第28地点	川崎 230-7	112453	35° 53' 17"	20080704	160	個人住宅建設	
		25-003	139° 31' 13"	20080808		越村篤	
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡2軒、土坑2基・土師器、須恵器、石製品、近世陶磁器 古代集落の中央で住居跡群を検出						
川崎遺跡第29地点	川崎 230-1	112453	35° 53' 18"	20080709	108	個人住宅建設	
		25-003	139° 31' 13"	20080822		越村篤	
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡2軒、溝3条・土師器、須恵器、石製品、銭貨、近世陶磁器 古代集落の中央で住居跡群を検出						
川崎遺跡第30地点	川崎 230-6	112453	35° 53' 17"	20080717	200	個人住宅建設	
		25-003	139° 31' 13"	20080905		越村篤	
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡4軒、井戸3基、土坑4基、溝5条・縄文石器、土師器、須恵器、灰釉陶器、石製品、銭貨、近世陶磁器 古代集落の中央で住居跡群を検出。墨書土器検出						
ハケ遺跡C区第8地点	福岡 3-2069-9	112453	35° 53' 06"	20090317	11	個人住宅建設	
		25-005	139° 31' 21"	20090317		高崎直成	
	集落跡 / 縄文時代住居跡確認・縄文土器						
権現山遺跡第23地点	滝 1-6-7	112453	35° 52' 49"	20081023	12	古墳整備	
		25-009	139° 31' 40"	20081029		坪田幹男・市丸靖子	
	集落跡 / 時期不明土坑3基、集石1基						
亀居遺跡第63地点	亀久保 2-13-5	112453	35° 51' 51"	20080917	312	モデルルーム	
		30-030	139° 30' 28"	20081015		高崎直成	
	集落跡 / 縄文時代竪穴住居跡1軒、土坑3基、ピット29基、近世以降の溝1条・縄文土器						
松山遺跡第45地点	築地 3-4-7 の一部外6筆	112453	35° 52' 20"	20080904	390	道路築造	
		25-010	139° 31' 51"	20081023		越村篤・高崎直成	
	集落跡 / 奈良・平安時代竪穴住居跡2軒、掘立柱建物跡2棟、時期不明の溝10条、溝状遺構3基、ピット4基・土師器、須恵器 建材と思われる「クリ」と「イネ科」の炭化材が出土した焼失住居跡を検出						